

特集

男性の独居高齢者を 地域でどう支えるか 社会的孤立を防ぐには



「平成 28 年版高齢社会白書」によると、孤立死(孤独死)を身近な問題と感じる高齢単身者は 4 割を越えており、地域で孤立している姿が垣間見える。また、「人との交流が少ない人や頼れる人がいない男性が多い」との結果が示されており、男性は女性に比べて社会的孤立が強い傾向にある。本特集では、高齢者を取り巻く現況を整理するとともに、とくに男性の独居高齢者への支援方法について考える。

- 孤立する男性独居高齢者の現状
- 高齢者の社会的孤立における性差とアプローチ
- 地域のつながりと男性高齢者
社会的孤立を予防するポイント
- 【事例①】ふじみ野市の取り組み
地域包括支援センターの多職種協働による
男性独居高齢者の支援
- 【事例②】相馬広域こころのケアセンターなごみの取り組み
東日本大震災・原発事故後の男性独居高齢者の孤立予防
- 【事例③】横浜市戸塚区の取り組み
高齢者を見守るまちづくり
「みまもりネット」による“気になる人”の早期発見・早期支援